

アイ・エス・ビー IoT/M2M ソリューションサイトをオープン

株式会社アイ・エス・ビー(本社:東京都品川区、代表取締役社長:若尾逸雄、以下アイ・エス・ビー)は、このたび、弊社が行っている IoT/M2M ソリューション※1※2に関するウェブサイトを開業しました。

弊社は、国立研究開発法人 情報通信研究機構(以下 NICT)が主導的に規格化を行ってきた「Wi-SUN」規格に準拠した通信プロトコルスタック研究開発に委託開発業者として参画し、「Wi-SUN アライアンス」※3にも設立当初より加盟、規格の選定に貢献致しました。同時に、Wi-SUN で構築されたセンサネットワークを集中管理する IoT/M2M プラットフォーム※4開発にも携わり、無線通信技術とクラウド技術を融合した効率的な IoT/M2M ネットワーク技術により、センサデバイスの開発からプラットフォームの提供まで IoT/M2M のワンストップソリューションを提供しております。



ISB の IoT/M2M ソリューション
<http://m2m.isb.co.jp/>

● 主なコンテンツ概要

・ IoT/M2M について

「IoT」「M2M」というワードの簡単なご説明

・ ソリューション

アイ・エス・ビー が提供する IoT/M2M ソリューションのご紹介

・ プラットフォーム

アイ・エス・ビー が提供する IoT/M2M プラットフォーム「dataSamplr」のご紹介

・ デバイス

アイ・エス・ビー が提供する IoT/M2M デバイス「Wi-SUN センサノードシリーズ」のご紹介

・ Wi-SUN

アイ・エス・ビー が提供する IoT/M2M 通信規格「Wi-SUN プロトコルスタック」のご紹介

● 今後の展開

近日、ビジネスパートナー情報の掲載を予定しております。

また、IoT/M2M ソリューションに関する最新情報は随時、更新してまいります。

※1 IoT

Internet of Things(モノのインターネット)の略で、パソコンやサーバ等、従来からインターネットに接続されていた IT 機器だけでなく、様々な“モノ”をインターネットへ接続し、相互通信や遠隔制御などを行う技術。

※2 M2M

Machine to Machine の略で、人間の介在なしに、機械(デバイス)同士が何らかの通信技術を使ってコミュニケーションを取りながら動作するシステム。

※3 Wi-SUN アライアンス

スマート・ユーティリティ・ネットワークの製品および技術に従事する主要企業グループが、遠隔地からのワイアレス・スマートグリッドデバイスと家電製品との通信を向上する相互接続規格の認証および推進をサポートするために 2012 年 1 月に創立。Wi-SUN アライアンスは、低電力消費のスマートメーターと遠隔無線センサー・ネットワークの互換性を保証する手段の一つとして、バッテリー駆動装置の無線通信向けに新設定された IEEE802.15.4g 規格と、同規格がサポートする MAC レイヤー・プロトコルをサポートする。

※4 IoT/M2M プラットフォーム

IoT/M2M のシステム内で、デバイスやデータの集中管理を行うシステム。

◆本記事に対するお問い合わせ先:

(株)アイ・エス・ビー 経理部

TEL 03-3490-1761(代)、FAX 03-3490-7718

E-Mail: ml-isb-info@isb.co.jp

Web: <http://www.isb.co.jp/>

※その他の会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。

※「dataSamplr」は弊社の登録商標です。

※記載された内容は 2015 年 5 月現在のものです。

記事の掲載をご検討頂ければ幸いです。